

Watchman のデバイスサイズ決定における術前造影 CT の有用性 —True3D ホログラム PreOP を用いた解析—

1. 研究の対象

2021 年 6 月 1 日～2024 年 3 月 31 日に当院で Watchman を受けられた方

2. 研究目的・方法

心房細動や心室細動などの不整脈があると左心耳内に血栓ができることにより心原性塞栓症（脳梗塞や下肢虚血など）のリスクが高くなります。そのため、予防目的に抗凝固薬の内服が必要となります。一方、抗血小板薬内服や高齢化に伴い出血リスクが高い症例もあります。Watchman により左心耳閉鎖を行うことで、抗凝固薬を中止することが可能となります。

現在 Watchman の術前計測は経食道心エコーを用いて行っています。今回、術前造影 CT を用いて術前計測の代替として有用であるかを検討することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：Watchman に使用されたデバイス情報、造影 CT、経食道心エコーなど

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

研究責任者： 心臓血管外科 平岡 有努

担当者： 心臓血管外科 井口 裕介